

令和5年1月19日から令和5年3月31日までの出来事を掲載しました。



弘前公園の二の丸と本丸を結ぶ「下乗橋」は、欄干や床板の木材が腐食するなど、老朽化が進んでいたことから、安全に通行ができるよう、18年ぶりに改修工事が行われました。写真は、約1か月半の工事を終えた下乗橋です。（市公園緑地課提供）

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### 令和5年第1回定例会の閉会后 弘前文化センター内覧会が実施されました

2月17日(金)から3月16日(木)の28日間にわたって開かれた令和5年第1回定例会では、令和5年度弘前市一般会計当初予算など、35件の市長提出議案と1件の議員提出議案について慎重審議を行い、また、請願1件を採択しました。

定例会最終日(3月16日)の本会議終了後には、令和3年度から令和4年度にかけて長寿命化改修工事を行い、3月に工事を終えた弘前文化センターの内覧会があり、議員が参加しました。用途を変更した箇所や、新設した箇所を中心に担当課から説明があり、新規導入されたデジタル式投影機によるプラネタリウムについても説明を受けました。



定例会最終日の様子



文化センター内覧会で担当課から説明を受ける様子



人工芝が敷かれたプラネタリウム

# 令和5年第1回定例会

【会期：令和5年2月17日(金)～3月16日(木)】

## 市長提出議案 35件

### 3月補正後の令和4年度予算

一般会計 920億4008万3千円  
 (3月補正額 11億8482万7千円)  
 特別会計 434億7849万4千円  
 (3月補正額 3億1542万7千円)

●令和4年度弘前市一般会計補正予算(第16号)  
 国の補正予算に伴う事業費の追加、事業費の確定に伴う減額及び財源調整などの補正をするものです。  
 また、継続費、繰越明許費、債務負担行為及び地方債について所要の補正をするものです。  
**補正額 ▲5億7977万1千円**

●令和4年度弘前市一般会計補正予算(第17号)  
 国の補正予算に伴い農産物等輸出拡大施設整備事業費補助金を計上するほか、同補助金などに係る繰越明許費の補正をするものです。  
**補正額 8億1459万8千円**

- 事件処分の報告及び承認について(事件処分第1号)  
 【令和4年度弘前市一般会計補正予算(第13号)】  
**補正額 4億円**
- 事件処分の報告及び承認について(事件処分第2号)  
 【令和4年度弘前市一般会計補正予算(第14号)】  
**補正額 4億円**
- 事件処分の報告及び承認について(事件処分第3号)  
 【令和4年度弘前市一般会計補正予算(第15号)】  
**補正額 1億5000万円**

上記3件の事件処分は、今冬の降雪に伴う除排雪経費を追加することとし、この措置に急を要したため処分したものです。

## 令和5年度当初予算審査

予算決算常任委員会での令和5年度各予算案に対する賛成・反対討論の要旨を以下に掲載します。

一般会計 789億8000万円  
 (前年度当初予算との比較 1億6000万円増、0.2%増)  
 特別会計 410億1588万9千円  
 (前年度当初予算との比較 5億6830万6千円減、1.4%減)

### 一般会計予算案に対する討論

- 反対の要旨** 以下の理由で反対する。
- ・地方自治体が国の出先機関となるのではなく、地方自治体の精神を生かす弘前市を目指すべき
  - ・市町村単位で担ってきた行政を、圏域単位で行う広域連携の中心に、弘前市がなる必要はない
- 賛成の要旨** 以下の理由で賛成する。
- ・「健康都市弘前」実現のための新たな取組を含めた、市民が成果を実感できるよう配慮された予算である
  - ・人口減少対策、子育て、教育、福祉、観光等あらゆる分野でしっかり取り組む強い思いが感じられる

## 条例の改正

### ○弘前市子ども医療費給付条例の一部を改正する条例案

市内に住所を有する18歳年度末までの子どもの保険診療にかかる医療費を、所得にかかわらず完全無償化するため、所要の改正をしようとするものです。

子ども医療費給付制度は、弘前市に居住する子どもが保険診療を受けた際の、通院・入院医療費の一部負担金を給付するもので、市は今回、子育てを行う世帯の負担軽減のため、主に2点の改正を行いました。

- ① 医療機関への通院に係る医療費給付対象者の年齢を引上げ
- ② 所得制限の廃止

(令和5年3月31日まで)			(令和5年4月1日診療分から)		
	給付対象者	所得制限		給付対象者	所得制限
通院	15歳に達した年度末日まで	あり	→	通院	18歳に達した年度末日まで
入院	18歳に達した年度末日まで			入院	18歳に達した年度末日まで



現物給付の支給方法では、県内の医療機関を受診した際に、子ども医療費受給資格証を提示すると、医療費の窓口払いがなくなります。

## 人事案件 2件

### ○弘前市教育委員会の委員の任命について(1名)

ひかげやよい  
 日景弥生氏(再任)

### ○人権擁護委員候補者の推薦について(4名)

とのさきゆういち  
 外崎祐一氏(再任)、  
 たまかわみつゆき  
 玉川光幸氏(再任)、  
 たなかひとし  
 田中均氏(再任)、  
 さとうみつこ  
 佐藤美津子氏(再任)

## 議員提出議案 1件

## 条例の制定

## ○弘前市議会の個人情報の保護に関する条例案

議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めるため、条例を制定しようとするものです。

## 請願 1件

## ○がん治療に伴う医療用補正具（ウィッグ等・乳房補正具）の助成に関する請願書 …… 採択

がんの治療に伴うウィッグ等や、乳がん治療に伴う乳房補正具の購入に係る費用の一部を、市が助成する制度を創設するよう請願するものです。

## 陳情 1件 ※陳情書は議員に参考配付しました。

## ○日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情

## 一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。（ ）は令和5年第1回定例会時の所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



蒔苗 博英  
(創和会)



## 少子化における子育て支援について

**問** 実績及び今後の支援策を問う。

**答** 国による取組として、3歳から5歳児及び市町村民税非課税世帯の0歳から2歳児の保育料が無償化されたほか、市独自に課税世帯の0歳から2歳児の保育料を国の基準額から平均で4割程度軽減している。さらに、令和5年4月からは、市内に住所を有する18歳年度末までのすべての子供の医療費を完全無償化する。

## りんご産業イノベーション推進事業

**問** 成果と今後の展開を問う。

**答** 市では、りんご生産の入門者が仮想空間上で剪定技術を学ぶシステムの構築や、AI技術によって最適な着果数量を判定するシステムの実証等、先端技術活用の可能性を高めてきた。今後は、若い世代の日常的なりんごの消費につなげるため、りんご生果の機能性表示食品の更なる拡大に向けた取組等を進めていく。



佐藤 哲  
(櫻鳴会)



## 弘前警察署の建て替えについて

**問** 弘前警察署の状況や今後の予定は。

**答** 来庁者用の駐車場不足や庁舎の狭隘化が進んでいる。青森県警察本部から宮川第一児童公園を建て替え候補地として、当市に八幡町東公園部分の譲渡の要望があった。住民説明会を今後開催予定。公園の利便性については、住民への影響は少ないと考えている。市都市計画審議会の議決を経て決定後、譲渡が可能。令和

10年度供用開始を希望しているとのこと。

## 獄温泉の湯量問題について

**問** 市の今後の対応について伺う。

**答** 昨年末から源泉の湯量、温度低下が発生し、地域の温泉利用者等に支障を来している。獄温泉旅館組合では、不具合解消の工事後も大きな改善が見られなかったため、使用していない源泉からの配管の修繕を決めている。市に正式に支援の要請がある場合は対応を検討したい。



竹内 博之  
(さくら未来)



## スポーツ行政について

**問** スポーツコミッションの取組を積極的に推進していくべきとの意図で、スポーツコミッションについて伺う。

**答** 行政主導型ではなく、知恵と工夫を最大限に活かした幅広い活動が期待できる、民間組織が自主的に業務を行う民間主導・民間主体型の地域スポーツコミッション設立が望ましいと考えている。今後も、その設立や活動に対する側面的な

支援等について、さらに検討を進めたい。

## ふるさと納税の今後の戦略について

**問** 今後の見通し、市の戦略は。

**答** 寄附を増やしていくためには、寄附者が好む魅力的な返礼品の提供はもちろん、寄附の申し込みにつなげるための情報発信も重要であり、寄附者の大半が利用するポータルサイト上で、市の情報が目に留まるよう、これまで以上に工夫しなければならないと考えている。

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



松橋 武史  
(櫻鳴会)



**弘前市斎場について**

**問** 斎場の利用を断ったときの差額負担の制度をつくることを考えているか。

**答** 斎場の火葬予約が取れず、他市町村での火葬を執り行う市民に負担を強いることがないように、公平なサービスが受けられるような方策を研究していく。

**小・中学校のコロナ対策について**

**問** いじめの実態はあったのか。また、校長権限で校長が判断を誤ったときは誰

の責任となるのか。

**答** これまで累計で5,000人を超える感染者が確認されたが、学校からの新型コロナウイルス感染症に係るいじめの報告は数件だった。また、新型コロナウイルス感染症による対応は、全て教育委員会の責任で行ってきた。

〈その他の質問項目〉

○視覚障がい者用ハザードマップについて



樋川 篤子  
(さくら未来)



**弘前市総合計画後期基本計画について**

**問** 時代に対応した教育推進のための施策について。

**答** 学力向上と時代に対応した教育推進のための施策は、リーディングプロジェクト「みらいの健康」に位置づけ、具体的な取組として市立小・中学校の全児童生徒へのA Iドリルの導入を支援する。A Iドリルを含めて配備された1人1台端末が、文房具と同様に、日常的に活用

されるように努め、未来を担う子供たちの学力の向上と育成を図っていく。

**高齢者の社会参加について**

**問** ボランティアポイント制度について。

**答** 特に高齢者が行うボランティアに対するポイント付与の取組については、地域福祉が支えられるだけではなく、自身のボランティア活動を行う動機づけとなり、結果的に介護予防につながることを期待されている。



木村 隆洋  
(創和会)



**地域公共交通の在り方について**

**問** 弘南鉄道の現状について問う。

**答** 弘南鉄道の状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は利用者数及び運賃収入ともに大幅に減少し、令和3年度以降は回復基調となっているものの、感染症の影響を受ける前の令和元年度の水準からは大きく落ち込んでいる状況にあるものと認識している。今後、団塊の世代が後期高齢者

となり、移動困難者の増加が見込まれる等の事態も想定されることから、包括的に次世代を見据えた公共交通サービスを展開していく視点が重要であり、市では、令和5年度に新たな地域公共交通計画を策定し、あらゆる移動手段の連携・協働による、持続可能な交通ネットワークの再構築に向けて取組を進めていく。

〈その他の質問項目〉

○いじめ・不登校について



齋藤 豪  
(櫻鳴会)



**りんご産業の現状と販売戦略について**

**問** 関係機関等との連携によるこれまでの販売促進活動と、今後の展開について。

**答** 弘前産りんごの全国の認知度向上や有利販売につなげるため、農業協同組合や青果会社、量販店等と連携し、平成23年度から「パワーアップる！弘前産りんごPRキャラバン」による消費宣伝活動を行い、令和3年度は全国14エリア742店舗で活動。販売に大きな成果を

上げている。今後は、県外での観光PRの機会をさらなる販売のチャンスと捉え販促活動を強化する。海外向けの取組は、台湾の百貨店と連携したフェアを今年度21店舗で実施。弘前産りんごは日本ブランドの一つとして定着しつつある。市では、りんご・観光・物産の連携を強化し、市の魅力を複合的に情報発信することで弘前産りんごの消費拡大を図り、国内外からの誘客促進にもつなげていく。



野村 太郎  
(無所属)



**さくらまつりについて**

**問** 令和5年のさくらまつりはどのように開催されるのか。現時点での予定は。

**答** 市、弘前商工会議所、弘前観光コンベンション協会、弘前市物産協会の主催4団体で開催に向け具体的な協議、検討を重ね準備を進めている。国で新型コロナウイルス感染症の感染防止対策が緩和傾向にあるため、今後の国の方針や県が示す「イベント開催制限の考え方につい

て」を踏まえ、緩和できる対策は見直したい。昨年と異なる対策として、連絡先の記入や検温等の入園するための受付は設けないほか、西濠の一方通行及び出口専用口を廃止したいと考える。まつりに訪れる方は、自らが感染防止対策を意識しお越しいただくよう、広報ひろさきやSNS等を活用し広く周知する。多くの市民や観光客が安心して弘前の桜を楽しめるよう関係者一丸となり準備を進める。



千葉 浩規  
(日本共産党)



**児童手当について**

**問** 市民から「本当は、高校生になっ  
てからが、お金がかかる。児童手当の対象  
を高校生まで広めてほしい」との声が届  
いている。市独自で高校生まで児童手当  
を拡充する考えはないか答えよ。

**答** 児童手当の支給対象年齢の引上げ等  
を含めた市独自の制度拡充については、  
現段階において検討には至っていない  
が、全国の地方自治体における児童手当

相当の制度に関する独自の支援策につい  
て情報収集・研究を進める。国において  
は児童手当の所得制限撤廃や支給対象年  
齢の引上げなどについて活発な議論がな  
されているが、今後、制度改正等があっ  
た場合、迅速な対応ができるよう、国や  
県等の動向を注視する。

〈その他の質問項目〉

- 旧弘前市立病院整備
- 会計年度任用職員
- 終活支援
- 市営住宅



石山 敬  
(創和会)



**ごみの減量化及び活用策について**

**問** 市の近年のごみの減量状況及び減量  
化のための取組状況を伺う。

**答** 令和4年4月に国が公表した令和2  
年度一般廃棄物処理実態調査では、当市  
の1人1日当たりのごみ排出量は1,074グ  
ラムで、前年度から30グラム減量し7年  
連続の減少。市民・事業者・行政が目的  
を共有し、相互に連携協力し取り組む市  
民運動を展開してきた成果だと考える。

令和3年度 of 1人1日当たりのごみ排出  
量は市の算出した速報値で1,074グラム  
と令和2年度と同程度の見込み。新型コ  
ロナウイルス感染症拡大の影響でごみの  
排出状況が変化し、家庭系ごみが増え事  
業系ごみが減る等、これまでの傾向と異  
なる動きにより、ごみ減量化もペースダ  
ウンしたと考える。市のごみ減量化は着  
実に前進しており、今後も協働の理念の  
もと、ごみの減量化・資源化を推進する。



外崎 勝康  
(政心公明)



**子育て支援について**

**問** 伴走型相談支援の現状・目標を問う。

**答** 市では、子育て世代包括支援セン  
ターと子ども家庭総合支援拠点を開設し、  
妊産婦や子育て家庭の身体的及び精神的  
負担軽減のため、養育支援訪問事業や一  
時預かり事業等を実施している。今後も  
妊産婦や子育て家庭に寄り添った伴走型  
相談支援に取り組んでいく。

**高齢者等の通院などの支援について**

**問** 市の支援策を問う。

**答** 市では、移動が困難な在宅の重度心  
身障がい者に対し、乗車1回当たり600円  
のタクシー等利用券12枚つづりを年間1  
冊交付しており、令和5年度は利用券を  
使い切った方に対し、2冊目を1回限り  
追加交付することとしている。高齢者が  
公共交通を利用した際の運賃が軽減され  
るお出かけシニアパスの対象者につい  
ては、令和5年度は800名に拡充する。



尾崎 寿一  
(創和会)



**りんご作業の労働力不足対応について**

**問** 市の認識とどのような対策を行って  
いるのか伺う。

**答** りんご生産においては、人手を要する  
時期が特定の期間に集中することから、  
補助労働力を安定的に確保するための取  
組が求められている。市では、初心者向  
けりんご研修会の開催や農福連携の普及  
への取組、市職員の兼業によるりんご生  
産アルバイト、1日農業バイトアプリの

運用開始など、対策を講じてきた。令和  
5年度の新たな取組として、農福連携に  
新たに取り組む方の後押しをしていき  
たい。また、当市にゆかりのある企業等  
による援農活動を積極的に募集し、必要  
な農業者とマッチングを行う「(仮称)弘  
前援(縁)農サポーター」という仕組み  
の創設に向けて、今後検討を進めたい。

〈その他の質問項目〉

- 空き家対策
- 今冬の除排雪

**令和5年第1回定例会日程 (28日間)**

○傍聴者の数：38人

2月17日(金) 本会議	開会、会期の決定、 提案理由の説明	3月8日(水)～3月10日(金)	常任委員会 予算決算
2月18日(土)～2月28日(火)	議案熟考	3月13日(月)	常任委員会 予算決算
3月1日(水)～3月3日(金)	一般質問	3月14日(火)～3月15日(水)	議事整理
3月6日(月) 本会議	一般質問、議案付託	3月16日(木) 本会議	各委員長の報告、 質疑、討論、 表決、閉会
3月7日(火) 特別委員会	ひろさき市議会だより編集		
3月7日(火) 常任委員会	建設、総務、 厚生、経済文教		



坂本 崇  
(櫻鳴会)

**津軽圏域14市町村による広域観光について**

**問** 「津軽観光キャンペーン『ツガルツナガル』」の概要について伺う。  
**答** JR東日本の全面的な協力のもと、クランピオニー津軽と津軽圏域14市町村及び民間事業者等の連携により、4月1日から6月30日まで開催。津軽の自然や体験を満喫できるツアー企画等、14市町村の魅力を全国にPRできる絶好の機会

であるため、地域一丸となって取り組む。  
**台湾からのインバウンド誘致について**

**問** 市の考えを伺う。  
**答** 令和元年では、当市への宿泊客数が国・地域別で最も多く、重点的なターゲットと位置づけており、コロナ禍でも継続した観光プロモーションに取り組んできた。今後も、特に台南市・台北市との友好関係をさらに深め、情報交換を密にし、相互の交流につなげるよう努める。



石岡 千鶴子  
(無所属)

**嶽温泉郷の対応について**

**問** 今までの経緯と市の対応について。  
**答** 昨年12月28日に4つある源泉の一つの新嶽1号泉に不具合が生じ、旅館・ホテル等の営業に支障を来す状態になっている。市は源泉までの通路の除雪支援を行ったが、工事の結果、湯量や温度に大きな改善は見られなかった。今後、嶽温泉旅館組合の方針が決まり市に支援の要請があった場合は、対応を検討したい。

**岩木山登山道整備事業の財源について**

**問** 市のふるさと納税に岩木山応援に関する新コースを創設し、財源を確保する方法は検討できないか。市の見解を伺う。  
**答** 津軽国定公園に含まれる岩木山の管理の多くは県が実施するものであることから、市として岩木山に関するふるさと納税を募集することはなじまないと考える。必要に応じて予算を計上し事業を実施することが適当であると考えている。

**弘前市議会ホームページ**

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

弘前市議会のホームページでは市議会に関する情報を掲載しております。是非ご覧ください。

○インターネットによるライブ中継・録画中継

当日、傍聴したくても来庁できない方のために本会議・予算決算常任委員会の様子をインターネットによるライブ中継を行っています。

また、録画中継は、原則会議の7日後からご覧いただけます。

○会議録検索システム

平成18年第1回臨時会からの本会議の会議録が閲覧できます。

また、平成24年9月定例会以降の会議録では映像と会議録が連動したものが閲覧できます。

○スマートフォン・タブレットにも対応しております。

弘前市議会 インターネット中継

検索

弘前市議会 会議録

検索



**議案等に対する各議員の賛否状況**

議案は、○は賛成、●は反対。

欠は欠席、－は採決に加入らなかったもの。

議長（清野一榮）は採決に加入していません。 ※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

議案等名	採決結果	樋川篤子	竹浪敦	竹内博之	成田大介	坂本崇	齋藤豪	福士文敏	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英	松橋武史
令和5年度弘前市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○
令和5年度弘前市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○



石田 久  
(日本共産党)



**国民健康保険について**

**問** 国保料の引下げについて問う。

**答** 市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による市民生活への影響が長引いていることに加えて、物価高騰が負担となっていることなどを踏まえ、令和5年度以降の保険料率を引き下げることとした。この引下げにより保険料収入が約2億2000万円の減少となるほか、低所得世帯の法定軽減分に充当される基盤安

定負担金が約6000万円減少となり、合わせて約2億8000万円の歳入減少を見込む。

**小・中学校のトイレ洋式化について**

**問** 今後の対応について問う。

**答** 令和5年度において、洋式化率の低い学校について、小学校3校、中学校2校を対象に約20基のトイレを洋式化するなど、子供たちが安心して学校に通い、快適な学校生活を送れるよう、学習環境の向上に努める。



竹浪 敦  
(創和会)



**空き家対策について**

**問** 危険な空き家に対する対応を問う。

**答** 老朽化した空き家への対応を求める市民の要望が多数あったほか、空き家の所有者からは、建物の除却には多額の費用が必要で、捻出が難しいとの声も多く寄せられている。1坪当たり4~5万円程度の費用がかかると言われており、所有者の負担が大きいため、市は除却費の一部を補助している。

**中学校の部活の地域移行について**

**問** 市の今後の方向性を問う。

**答** 国が示したガイドラインは、令和5年度からの3年間を改革推進期間と変更し、休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めるが、「地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指す」と当初の計画が見直された。当市の実情に合わせた地域移行を改革推進期間の3年間で慎重かつ丁寧に進めていく。



工藤 光志  
(無所属)



**市長の政治姿勢について**

**問** 危機管理について問う。

**答** 消防団車両及び小型動力消防ポンプの修理等の件数は、令和元年度52件、2年度50件、3年度58件、4年度は令和5年2月16日時点で67件。修理に要する期間はおおむね1週間から2週間で、修理のため分団が出勤できなくなる場合は、市が当該地区団長等に連絡し、近隣の分団が速やかに協力体制を取れるよう、情

報を共有してもらうこととしている。

市街地の浸水対策は、平成26年度に浸水対策計画を作成し、排水路の整備等、浸水被害の解消を進めてきた。令和3年度に計画を見直し、早急に対応できるものについては、52箇所のうち11箇所が対策済み。今後も被害の低減を図りたい。

**〈その他の質問項目〉**

- 健康都市弘前
- 残地処分並びに機能回復・機能補償
- 要望書



今泉 昌一  
(さくら未来)



**中心市街地活性化について**

**問** 市中心市街地活性化ビジョンに基づき、新年度は何を行うのか。

**答** 令和5年度には、学生が既存店舗内で自由に勉強できる場を提供する事業者等を市が支援する実証事業や、様々な実施主体によるアイデアを生かした取組・まちづくり活動にチャレンジしようとする団体等を後押しするための仕組みを創設することとしている。

**小学校における文化・情操・自然体験教育について**

**問** 市の文化財、文化施設等が小学校の教育でどのように活用されているのか。

**答** 今年度の学校単位の利用実績は文化施設等で延べ34校1,191人、史跡等で延べ66校3,579人。児童が本物をじかに見るという貴重な体験を通じ、地域の歴史・文化の理解や地域を担う人材育成を図るべく今後も体験学習の充実に努める。

今泉昌一	小田桐慶二	鶴ヶ谷慶市	石岡千鶴子	石田久	三上秋雄	佐藤哲	越明男	工藤光志	清野一榮	田中元	宮本隆志	下山文雄
○	○	○	○	●	○	○	欠	○	-	○	○	○
○	○	○	○	●	○	○	欠	○	-	○	○	○

**令和5年第1回定例会審議結果**

※議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。

市長提出議案：35件

予算関係：18件、条例関係：9件、その他：8件

議員提出議案：1件

# 委員会等活動報告

## ひろさき市議会だより 編集特別委員会

- 1月25日(水) 市役所
- ①掲載内容について
- 3月6日(月) 市役所
- ①掲載内容について
- ②編集日程について

## 経済文教常任委員会

- 弘前観光コンベンション協会との懇談会
- 2月2日(木) 市役所
- ①市内の観光の現状とアフターコロナにおける取組等について



弘前観光コンベンション協会との懇談会の様子

## 議員全員協議会

- 2月9日(木) 市役所
- ①令和5年度津軽広域連合一般会計予算案について
- ②令和5年度弘前地区環境整備事務組合会計予算案について
- ③令和5年度弘前地区消防事務組合会計予算案について
- ④令和5年度津軽広域水道企業団津軽事業部水道用水供給事業会計予算案について

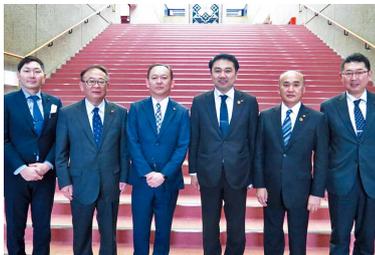
## 行政視察受け入れ

弘前市議会での行政視察受け入れ実績(令和4年度)  
→ 15団体、105人

### 主な視察項目

観光行政、りんご産業イノベーション戦略、弘前市子ども家庭総合支援拠点など

受け入れにあたっては、弘前市内での宿泊や食事、お土産のお勧めをしており、実際に多くの方が利用しています。



## 編集後記

現在の委員でのひろさき市議会だよりの編集は、この号が最後となります。誌面のオールカラー化など、市民の皆様に親しまれ、議会活動を身近に感じていただけるような誌面づくりに取り組んでまいりました。これまでご愛読いただきありがとうございました。

引き続き、ひろさき市議会だよりをよろしくお願いたします。

《ひろさき市議会だより編集特別委員会》

委員長 石山 敬 副委員長 坂本 崇

委員 竹内博之 成田大介 千葉浩規 外崎勝康

## わかりやすい誌面を目指し、こんなことに取り組みました

### 定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。  
※緊急時、災害時には変更される場合もあり。

### 議会を傍聴 しませんか

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、本会議及び委員会等の傍聴については、手指のアルコール消毒などの感染症対策にご理解とご協力をお願いいたします。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれるほか、市役所前川新館1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送もしております。

次回定例会日程(予定)

(6月2日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議)

6月9日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明

7月4日(火) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑討論、表決、閉会

※日程、傍聴の取扱いについては、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

第65号(令和3年6月発行)から

■全ページをカラー化  
■スマートフォン等から一般質問の録画映像を簡単に閲覧できるよう、一般質問の記事にQRコードを掲載

第72号(令和5年3月発行)から

■一般質問の要約をより見やすくするため、質問内容の文字をカラー化

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますので、電話・ファクス・メールなどお気軽にご連絡ください。(連絡先は右上にあります。)

## 表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。  
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和5年7月10日(月)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。
- ◎掲載時期 令和5年9月発行予定の第75号

